



ILASセミナー：コンピュータによる気象予報と気候予測(2)

(0) はじめに【1回】

自己紹介、ILASセミナー趣旨説明、インターネット・電子メール・PowerPoint・PandA等に関する基礎事項の確認、不正行為・研究公正、など

(1) 気象とは？ 気候とは？ それらの予報・予測とは？【3～4回】

気象と気候の違い。コンピュータ発展の歴史。それに伴う数値気象予報の発展の歴史と現状、同様に気候予測の歴史と現状、など

(2) もっと観測【3～4回】

気象観測の原理、エレクトロニクス技術・レーダー技術による最先端観測、人工衛星技術による最先端観測、気象データ・気候資料の分析、最先端資料分析技術、データ同化とは？ など

(3) 不確実な予報・予測【3～4回】

カオスとは？ 予報誤差成長に関する電卓を用いた数値実験、数値実験結果のデータ解析、など

(4) 総まとめレポートの作成と発表【1～2回】

コンピュータによる気象予報と気候予測について、このセミナーで学んだことの概要と各自の感想・意見

(5) フィードバック【1回】

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点評価（出席と討論への積極的参加、40点）、および、授業計画と内容の項目（1）～（4）それぞれの発表・レポートの内容を評価して採点する（各項目15点満点）。（1）～（3）はPowerPointによる口頭発表、（4）は書面レポートと口頭発表の形態とする。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

参考資料は、適宜、セミナー時に配布する（PandAにもアップする）。

【授業外学修（予習・復習）等】

授業時間内に、背景説明と課題の提示、具体的な作業・実験・データ解析、および、情報収集・成果集約結果の発表・討論を行う。また、発表の準備、発表結果を踏まえての内容検討・改善、および、総まとめレポートの完成については、その多くを授業外学習で行うこととなる。

【その他（オフィスアワー等）】

ILASセミナーの趣旨に則り、受入（予定）人数を12名に限定する。

PowerPoint・PandA等も含めて諸情報処理技術は、誰もが習熟すべきことであるので、最初は不得手でも、自己研鑽で上達できるように授業の中で指導する。